

比布商工会青年部が 創立50周年

比布商工会青年部が2月20日、町農村環境改善センターで創立50周年記念式典を開催しました。

式典には商工会関係者ら約70人が出席し、50年の節目を祝いました。

大熊勝幸部長は「これまで青年部の活動を築き上げてきた先輩方の意志を受け継ぎ、これからも比布町がより明るく、元気になるよう活動を続けていきたい」と式辞を述べました。

続いて、荒尾孝司商工会長



のあいさつ、伊藤喜代志町長、西村和樹上川管内商工会青年部連合会長の祝辞のほか、平成7年以降に青年部長を務めた佐藤康則さんをはじめ7人の歴代部長に感謝状が贈られました。

式典後には記念講演として、北海道議会議員の竹内英順氏が「地域活性化への道くこれから求められる青年部活動」と題し、自身の青年部活動の経験や北海道経済の現状を話しました。

同部は昭和41年5月、故上

西達夫さんを初代部長として結成。以後、商工会活動の担い手として、若い力で町の発展の大きな原動力として活躍してきました。

現在は人口減少や消費の流出、商店等の後継者不足など商工業を取り巻く環境は厳しいものの、21人の正・賛助部員により特産品の開発やフラワーボックス、イルミネーションの設置、ビールパーティーの開催など意欲的に町を盛り上げる活動が進められています。

イラストレーター 高野美奈さんが描いた ふるさとの名刺台紙を作成



高野美奈さん
1968年、比布町生まれ。北海道総合美術専門学校卒業後、上京しイラストレーターとして活躍。2010年、仕事場を比布町に移す。以後、地元から広告、雑誌、書籍などのイラストを全国に届けている。ブログ http://blog.goo.ne.jp/hakase_d

町内在住のイラストレーター高野美奈さん（9区）が描いたふるさとの風景のイラスト入りの名刺台紙を作成しました。

イラストは、春を描いた「町花スイセンと大雪山」。初夏の「いちご狩り」、国道から見る冬の「びっぶスキー場」の3種類。それぞれ各3千部を作成し、縦・横型の名刺台

紙を用意しています。

また、裏面には町をコミカルに紹介する観光広告をプリントしています。

イラストを描いた高野さんは「子どものころは意識せずに見ていた風景をイラストレーターとして新たな視点で見ることができた。新たな発見もたくさんあり、ふるさとの風景を描くことを楽しめた。名刺を通じて、より多くの人に比布町の良さを伝えられたい」と話しました。

台紙は希望者に役場産業振興課で無料配布しています。住所や氏名などを印刷してご使用ください。なお、数に限りがありますので、無くなり次第、配布を終了します。

問い合わせ

役場産業振興課観光係

☎85・4806

ふれあいタウン びっぶ

半額

どなたでも
分譲価格より

おトクポイント！
中学生のまでのお子様一人につき50万円
最高150万円を支援

ふれあいタウンびっぶご契約で
**町内商品券10万円分
プレゼント**

第2次分譲地

番号	価格(円)
⑥	4,220,000 → 2,110,000
⑭	3,825,000 → 1,912,500

お急ぎください！！

あと2区画！

比布町役場 総務企画課企画振興係 TEL0166-85-2111 FAX0166-85-2389

裏面には
びっぶの
観光広告！